2026.4.5

桜高創立100周年記念事業に向けての取り組み報告および意見交換（記録）

司会　和田

１　桜高創立100周年記念事業委員長挨拶（津田）

・2025年の櫻丘会総会（4月6日）で実行委員会が承認され、委員長に就任した。
・この一年間の取り組みの紹介の後、忌憚のないご意見をお願いしたい。

２　櫻丘会の歴史（津田）

・歴代会長と取組みの紹介（現在の形になったのは1990年代より）
・現在の同窓会の取組を紹介（同窓生・現役生の支援及び会報の発行など）

３　100周年記念事業の組織（福田）

・組織、運営、会議などについての説明
・会議は第１・３の土曜日10時～１２時　同窓生なら参加も可　など

４　100周年記念事業の全体像（杉崎）

学校が主催、企画する事業を含めて資料①を参照

５　同窓会が中心に進めている事業について

（１）記念祝賀会の企画（和田）
（２）記念作品展の企画・ホームカミングデイの企画（市原）
（３）野球大会の企画（市堀）
（４）桜高創立100周年記念事業広報活動の現状（磯野）
（５）募金活動の現状報告（津田）

６　意見交換

（１）桜高創立100周年記念事業広報活動の具体策および持続可能な櫻丘会の在り方について

①総会（本日）案内に関する現状報告
・ハガキの返信（29/210　本日参加者4名）
・グーグルGoogleフォームを活用した口コミによる拡散（回答者483名　参加者34名）
・同窓生全員に手紙を送るには、１回につき270万円ほどかかり、持続可能ではない。

②広報の具体策について
・各年代ともＳＮＳを活用した連絡手段を持っている。そのネットワークを活用すべきだ。
・ＳＮＳを使用しない世代もあるので、手紙も重要な連絡手段である。
・メールアドレスを集めて、手紙を添付すれば、情報発信が安価でできる。
・メールは詐欺等に誤解されるなどの課題がある。
・次回の会報誌（8月）で、SNS活用も含め情報を発信していくとよい。
・各代で情報発信のリーダーとなる人材を確保できると、一気に情報拡散と協力が得られると思う。
・100周年事業の活動資金を集めるには、500円や1000円でも受け付けるなど、若い世代にも負担のない設定も必要と思う。
※ＳＮＳの活用に関する意見が多く出されました。8月の会報誌を発行する際にこれらの意見を取り入れていきます。

【大事なこと】
これら途中経過は、毎月第1、第３土曜日（10時から12時）に行われている櫻丘会定例会において、実行委員会として話し合いを重ね、意思決定してきたものです。特別な会議招集の案内はしていません。今後もこの日程で続ける予定です。ご意見、アイデアなどありましたら、ぜひ定例会、実行委員会に参加して、協力、検討していただきたいと思います。